

「東北大学 4 年連続 1 位 英教育誌日本大学ランキング」

英教育誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」(THE) は 3 月 23 日、学生の学びの質や成長性という教育の充実度から日本の大学を評価した「THE 日本大学ランキング 2023」を発表した。東北大学が 4 年連続で一位となった。2 位以下も上位には前年と同じ顔ぶれの国立大学が並ぶ中で、私立大学の国際基督教大学が 10 位と初めてトップ 10 に入ったのが目を引く。

2 位は前年と同じ東京大学で 3 位は大阪大学 (前年同率 3 位)、4 位東京工業大学 (前年同率 3 位)、5 位京都大学 (前年 5 位)、6 位九州大学 (同 7 位)、7 位北海道大学 (同 6 位)、8 位名古屋大学 (同 8 位)、9 位筑波大学 (同 9 位)、10 位国際基督教大学 (同 12 位) となっている。THE のチーフ・グローバル・アフェアーズ・オフィサーは「上位層の安定感、日本を代表する大学の泰然性と回復力を証明している」との見方を示した。

THE は最もよく知られる「世界大学ランキング」を初め毎年、様々な大学ランキングを公表している。日本の大学だけを対象にしたランキングは 2017 年から始まり、当初から教育・保育・介護事業を展開する日本企業「ベネッセグループ」が協力している。少子化が止まらず 18 歳人口が減る一方の日本で、世界中の大学進学希望者に日本の大学の魅力を多様な側面から伝えていく必要がある、というのがベネッセグループの協力理由。このため THE の他のランキングとは異なる評価手法がとられている。教育と国際性のみを評価対象とし、特に「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」の三つの指標で評価する教育を最重要視しているのが最大の特徴だ。

4 年連続で 1 位となった東北大学は、「教育リソース」と「教育成果」の分野で一つずつ順位を上げてそれぞれ 5 位と 2 位、「教育充実度」は五つ順位を落としたものの 9 位。さらに「国際性」は国立大学トップの 11 位と、バランスの良さが目立つ。2 位の東京大学は国際性の評価がやや見劣りするものの教育の 3 指標で東北大学と同様の高い評価を得た。前々年、前年と順位を上げ、今回 3 位を堅持した大阪大学は「教育成果」の評価を上げた。前年より二つ順位を上げ初めて 10 位に入った国際基督教大学は、リベラルアーツ、少人数教育に早くから力を入れているが、「教育充実度」の評価が前年から一つ上がって初の 1 位。さらに「国際性」は前年と同じ 2 位という高評価が順位を押し上げた。

THE 日本大学ランキング 2023【総合順位】（50位まで抜粋）

順位		大学名	スコア				
2023 総合	昨年 総合		総合 Overall	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment
1	1	東北大学	85.9	80.3	84.0	97.6	88.8
2	2	東京大学	82.7	83.4	84.2	95.3	69.6
3	=3	大阪大学	82.5	75.2	83.1	96.4	83.0
4	=3	東京工業大学	82.3	75.8	84.5	93.5	81.0
5	5	京都大学	82.2	79.3	80.9	98.6	75.9
6	7	九州大学	80.5	72.5	83.3	97.0	76.6
7	6	北海道大学	80.1	71.4	82.4	96.0	78.7
8	8	名古屋大学	78.9	74.1	79.7	97.4	71.0
9	9	筑波大学	77.8	70.9	82.9	90.0	72.3
10	12	国際基督教大学	73.3	50.7	91.4	56.7	98.0
11	10	広島大学	73.0	63.0	82.3	73.7	75.8
12	11	慶應義塾大学	72.1	58.8	77.4	93.2	69.8
13	14	神戸大学	71.7	61.7	78.3	83.2	69.6
14	13	早稲田大学	71.4	47.4	80.2	93.2	81.4
15	17	国際教養大学	71.3	47.7	91.3	62.3	88.6
16	16	一橋大学	69.7	46.5	85.1	70.1	85.6
17	15	東京医科歯科大学	69.4	84.6	63.9	46.5	70.4
18	19	金沢大学	66.9	62.6	76.6	54.0	69.8
19	=21	千葉大学	66.0	59.9	76.7	61.8	63.5
20	23	東京農工大学	65.3	64.4	73.2	48.4	68.4
21	=21	岡山大学	65.2	58.8	75.8	54.4	69.1
=22	24	立命館アジア太平洋大学	64.5	31.4	86.8	48.8	99.8
=22	20	上智大学	64.5	39.0	82.4	53.6	89.8
24	18	会津大学	64.3	58.7	79.8	28.7	79.1
25	=31	熊本大学	63.7	60.1	70.5	60.2	62.4
26	30	長崎大学	63.4	62.5	73.9	46.2	62.9
27	27	東京外国語大学	63.3	36.8	84.1	50.9	87.2
28	26	横浜国立大学	62.7	48.2	75.0	58.0	72.8
29	35	京都工芸繊維大学	62.4	54.3	66.8	52.2	77.9
30	=31	長岡技術科学大学	62.1	57.1	64.4	47.6	78.8
31	=31	立命館大学	61.6	35.9	82.4	58.6	76.5
32	25	お茶の水女子大学	61.3	59.5	77.6	29.9	65.1
33	29	東京理科大学	61.2	50.5	79.4	68.2	46.3
34	28	芝浦工業大学	61.1	44.6	76.6	47.8	76.4
35	36	豊橋技術科学大学	60.6	61.2	48.9-56.1	50.4	75.5
36	=37	電気通信大学	59.5	58.4	67.1	43.8	62.4
37	40	東京都立大学	58.8	54.4	69.1	55.2	53.5
=38	=37	九州工業大学	58.3	49.3	76.8	44.4	56.8
=38	34	横浜市立大学	58.3	68.7	70.7	32.4	42.9
=40	NR	大阪公立大学	58.0	60.5	69.6	60.0	27.7-40.5
=40	=44	立教大学	58.0	33.3	82.1	42.2	76.2
42	39	東京海洋大学	57.7	58.8	61.7	45.8	59.5
43	=41	同志社大学	57.2	34.8	77.6	50.2	70.1
44	=44	関西学院大学	56.8	35.4	78.1	43.0	72.1
=45	46	福岡女子大学	56.5	40.3	75.5	-	88.9
=45	=41	明治大学	56.5	36.8	79.9	48.3	61.2
=47	43	神田外語大学	56.2	22.0-31.0	84.7	30.8	80.0
=47	61	名古屋市立大学	56.2	68.9	58.8	45.1	27.7-40.5
=49	53	学習院大学	55.1	40.0	69.8	38.5	72.1
=49	52	名古屋工業大学	55.1	52.3	65.6	52.0	46.7

※順位横の「=」表記は、同順位であることを示しています。同順位の場合は英語表記のアルファベット順で掲載しています。

※「NR」は2022版でランキング対象でなかったことを示しています。

※「-」は、分野における順位が201位以下のためスコア非表示としています。

（ベネッセコーポレーション「THE 日本大学ランキング 2023」発表から）

世界ランキングは研究重視

THEの「世界大学ランキング」は、教育、研究、論文被引用数、国際性、産業界からの収入という五つを評価指標としている。配点比率は、教育、研究、論文被引用数がそれぞれ30%、国際性が7.5%、産業界からの収入が2.5%。研究、論文引用数に加え、研究力に大きく関わるとみられる産業界からの収入を足すと、研究に対する評価の比率が62.5%と非常に大きい。このため文系大学の評価が低い一方、医科大学が高い評価を得る傾向がみられる。

一方、「日本大学ランキング」は研究に絞った指標がないことに加え、「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」に評価指標が限られているのが特徴。それぞれの配点比率をみると「世界大学ランキング」の評価法との違いはさらに明白だ。「学生一人当たりの資金」、「学生一人当たりの教員比率」、「教員一人当たりの論文数」、「大学合格者の学力」、「教員一人当たりの競争的資金獲得数」で評価する「教育リソース」に、34%という最も高い配点比率が割り振られている。

次いで重視されている「教育充実度」（配点比率30%）には、「世界大学ランキング」にはない評価法が採られている。中学・高校の進路指導教員から、世界最高水準の教育を行っていると思う大学と学生の能力開発に最も優れていると思う大学を挙げてもらい、学生からは、実際に入学した後で受けた教育、さらに教員との交流や学生同士の交流などに対する印象を問う。こうした二つの調査を基に大学の授業や教員の指導の充実度を評価している。

三つ目の指標である「教育成果」には、上場・非上場企業の人事担当者から自社の社員の評価などからの確かな教育をしていると評価する大学名を挙げてもらうという手法が採られている。これもベネッセグループの協力によって可能になった「世界大学ランキング」にはない評価手法。これら三つの指標による教育だけの配点比率で全体の80%を占める大学ランキングとなっている。

残る四つ目の指標である「国際性」（配点比率20%）も、「世界大学ランキング」の配点比率7.5%に比べるとはるかに高い。さらに「外国人学生比率」、「外国人教員比率」の他に、「日本人学生の留学比率」、「外国語で行われている講座の比率」という「世界大学ランキング」にはない二つの評価指標が採り入れられている。

地方国公立大学も健闘

今回のランキングで目立つ点として THE は、地方国公立大学の健闘を挙げている。秋田市の公立大学、国際教養大学が前年から二つ順位を上げ、15 位となった。「教育成果」の評価が前年より大きく高まったのが目を引く。前年より 6 順位を上げ 25 位になった熊本大学も「教育成果」の評価が上がった。さらに上位 100 位内に入った大学のうちが前年より 10 位以上、順位を上げた大学が 47 位の名古屋市立大学（前年 61 位）を初め 10 校に上る。帯広畜産大学 55 位（同 75 位）、群馬大学 58 位（72 位）、奈良女子大学 61 位（同 83 位）、鹿児島大学 65 位（同 78 位）、佐賀大学 66 位（同 80 位）、富山大学 71 位（同 87 位）、愛知県立大学 81 位（同 100 位）、香川大学 88 位（同 98 位）、琉球大学 98 位（同 111 -120 位）だ。

外国語大学国際性で高評価

THE は「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」それぞれの分野別順位（上位 20 大学）を明らかにしている。「教育充実度」では、一橋大学 4 位（前年 19 位）、神田外語大学 5 位（同 9 位）、京都大学 18 位（同 29 位）、早稲田大学 19 位（同 24 位）が大きく順位を上げた。「国際性」では、立命館アジア太平洋大学が前回に続き 1 位。このほか関西外国語大学 4 位（前年 7 位）、京都外国語大学 7 位（同 20 位）、長崎外国語大学 17 位（同ランキング対象外）など、外国語大学の順位上昇が目立つ。上位 10 校のうち 9 校、上位 20 校のうち 13 校が私立大学となっている。

THE 日本大学ランキング 2023【分野別順位】（20 位まで抜粋）

教育リソース Resources			教育充実度 Engagement			教育成果 Outcomes			国際性 Environment		
順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名
1	2	東京医科歯科大学	1	2	国際基督教大学	1	1	京都大学	1	1	立命館アジア太平洋大学
2	1	東京大学	2	1	国際教養大学	2	3	東北大学	2	2	国際基督教大学
3	4	京都府立医科大学	3	3	立命館アジア太平洋大学	3	4	名古屋大学	3	3	大阪女学院大学
4	5	浜松医科大学	4	19	一橋大学	4	7	九州大学	4	7	関西外国語大学
5	6	東北大学	5	=9	神田外語大学	5	6	大阪大学	5	4	宮崎国際大学
6	=8	京都大学	6	6	東京工業大学	6	2	北海道大学	6	5	創価大学
7	=8	東京医科大学	7	=9	東京大学	7	5	東京大学	7	20	京都外国語大学
8	10	滋賀医科大学	8	=4	東京外国語大学	8	8	東京工業大学	8	8	上智大学
9	NR	和歌山県立医科大学	9	=4	東北大学	=9	10	慶應義塾大学	9	=12	麗澤大学
10	12	愛知医科大学	10	12	九州大学	=9	9	早稲田大学	10	14	福岡女子大学
=11	11	日本医科大学	11	=7	大阪大学	11	11	筑波大学	11	9	東北大学
=11	13	札幌医科大学	12	=7	筑波大学	12	13	神戸大学	12	6	国際教養大学
13	17	東京工業大学	=13	16	北海道大学	13	14	広島大学	13	11	東京国際大学
14	14	福島県立医科大学	=13	=13	立命館大学	14	12	一橋大学	14	15	東京外国語大学
15	18	大阪大学	=13	=9	上智大学	15	15	東京理科大学	15	16	名古屋商科大学
16	15	東京慈恵会医科大学	16	=17	広島大学	16	45	国際教養大学	16	10	神戸市外国語大学
17	19	名古屋大学	17	21	立教大学	17	18	千葉大学	17	NR	長崎外国語大学
=18	22	九州大学	18	29	京都大学	18	35	熊本大学	18	18	一橋大学
=18	20	産業医科大学	19	24	早稲田大学	19	NR	大阪公立大学	19	23	恵泉女学園大学
20	21	豊田工業大学	20	23	明治大学	20	22	立命館大学	20	19	大阪大学

※「昨年」は 2022 版の順位です。

※順位横の「=」表記は、同順位であることを示しています。同順位の場合は英語表記のアルファベット順に掲載しています。

※「NR」は 2022 版でランキング対象でなかったことを示しています。

（ベネッセコーポレーション「THE 日本大学ランキング 2023」発表から）

日本大学ランキングの大学評価は、THEの世界大学ランキングの評価結果と異なるだけでなく、THEの世界大学ランキング自体が、英国の大学評価機関「クアクアレリ・シモンズ」(QS: Quacquarelli Symonds)が毎年、公表している「QS世界大学ランキング」とも少なからぬ違いがみられる。QS大学ランキングが教育と研究の質をみる「学術関係者の評価」を重視しているのに対し、THEの方は評価指標が13項目とQSより倍以上多いのに加え、数字ではっきり示される定量的な評価指標が多いという違いがあるためだ。

日本大学ランキングの結果と、THE世界大学ランキング、QS世界大学ランキングの結果を比べるとその差がよくわかる。

THE日本大学ランキング上位20大学、順位を大幅に上げた100位以内大学とTHE世界大学ランキング、QS世界大学ランキング順位

世界排名(前一年)	大学名称	综合评价(前一年)	THE 排行榜 2023年排位	QS 排行榜 2023年排位
1 (1)	东北大学	85.9 (85.6)	201-250	79
2 (2)	东京大学	82.7 (81.7)	39	23
3 (=3)	大阪大学	82.5 (81.6)	251-300	68
4 (=3)	东京工业大学	82.3 (81.6)	301-350	55
5 (5)	京都大学	82.2 (80.7)	68	36
6 (7)	九州大学	80.5 (78.8)	501-600	135
7 (6)	北海道大学	80.1 (79.0)	501-600	=141
8 (8)	名古屋大学	78.9 (78.1)	301-350	=112
9 (9)	筑波大学	77.8 (77.5)	501-600	=312
10 (12)	国际基督教大学	73.3 (71.3)	—	801-1000
11 (10)	广岛大学	73.0 (72.3)	801-1000	338
12 (11)	庆应义塾大学	72.1 (71.7)	801-1000	=197
13 (14)	神戸大学	71.7 (70.4)	801-1000	=363
14 (13)	早稻田大学	71.4 (71.1)	1001-1200	=205
15 (17)	国际教养大学	71.3 (67.6)	—	—
16 (16)	一桥大学	69.7 (68.3)	—	531-540
17 (15)	东京医科齿科大学	69.4 (69.0)	501-600	=392
18 (19)	金泽大学	66.9 (64.6)	1001-1200	601-650
19 (=21)	千叶大学	66.0 (64.0)	1001-1200	=490

20 (23)	東京農工大学	65.3 (63.5)	1201-1500	701-750
25 (=31)	熊本大学	63.7 (60.2)	1001-1200	651-700
55 (75)	帯広農業和獣医大学	53.4 (49.5)	—	—
58 (72)	群馬大学	52.9 (50.0)	1201-1500	651-700
=61 (=83)	奈良女子大学	52.6 (48.3)	—	—
=66 (80)	佐賀大学	51.3 (49.1)	1201-1500	—
=71 (87)	富山大学	50.8 (48.2)	1201-1500	—
=81 (100)	愛知県立大学	50.0 (46.6)	—	—
88 (98)	香川大学	49.2 (47.0)	1201-1500	—
98 (111-120)	琉球大学	47.8 (45.2-46.4)	1201-1500	—

(Times Higher Education Japan University Rankings 2023、Times Higher Education World University Rankings 2023, QS World University Rankings 2023 から作成) =は同順位 —は順位なし

日文 小岩井忠道 (科学記者)

関連サイト

Times Higher Education [Japan University Rankings 2023](#)

Times Higher Education [THE 日本大学ランキング](#)

ベネッセホールディングスリリース [THE 日本大学ランキング](#)

Times Higher Education [World University Rankings 2023](#)

QS [QS World University Rankings 2023: Top Global Universities](#)

関連記事

2022年10月20日 [《泰晤士高等教育》公布世界大学排行榜：中国排名提升，全球研究实力分布出现变化](#)

2022年04月05日 [《泰晤士高等教育》发布日本大学排名：东北大学继续蝉联榜首，东京大学位居第二，大阪大学和东京工业大学并列第三](#)

2022年06月22日 [2023年QS世界大学排名，亚太地区维持高评价](#)

2021年04月01日 [《泰晤士高等教育》发布日本大学排名：东北大学蝉联第一，东工大首次升至第二](#)

2020年09月01日 [【日本の大学】\(十一\) 国际基督教大学：世界标准的“全人教育”](#)

2020年04月30日 [【日本の大学】\(一\) 东北大学：秉承科研至上主义](#)

2020年03月31日 [《泰晤士高等教育》发布日本大学排名：东北大学登上榜首，东工大升至第三](#)

2019年11月19日 [博雅教育的强力指南书—国际基督教大学出版实践成果](#)

2019年04月09日 [“世界大学排行榜日本版 2019”出炉，重视“教育”和“国际化”的公·私立大学斩获高评价](#)

2018年12月07日 [5年本硕连读，日本国际基督教大学进一步加强博雅教育](#)